

第一小学校の150周年 記念について

頭山 太郎（たちかわ自民党・安進会）



問 第一小学校の創立150周年記念式典の進捗状況を伺います。最も歴史のある新潟県の小学校では、県を挙げて記念事業を行ったそうです。市は、実行委員会へ協力するとともに、東京都教育委員会への働きかけを積極的に行っていただきたい。150周年を迎えるにあたり、児童の安全・安心をより整備していくことが大切です。保護者を中心に、スクールゾーン設定に向けた動きがありますが、実現に向けて、どのような課題がありますか。

答 来年2月の記念式典に向け、実行委員会が中心となり、準備を進めています。学校と地域が一体となつて、市指定文化財である獅子舞の体験等に取り組んでいます。都へは、明治3年設立という第一小学校の歴史的な重みを含め、しっかり説明していきたい。また、スクールゾーンの指定は、立川警察署の所管ですが、その道路及び迂回路沿いの全住民の同意等の指定条件の解決が課題です。

一般質問項目

①児童虐待防止について ②オストメイト支援について ③第一小学校について ④外国人との共生について

災害時を想定した エネルギーの分散化を

大沢 純一（公明党）



問 災害対策では、エネルギーの分散化が重要です。国の報告書では、L Pガスは災害に強く、災害時の初期対応に適しているとされています。現在、一次避難所となる小中学校体育館にエアコン設置の検討が進められていますが、事業継続計画の視点からも、L Pガスの活用を求めます。また、炊き出しや発電機にも使えるL Pガス災害対応バルクの設置も有効ではないか。地元L Pガス事業者と災害時の救援協定を締結すべきと考えますが、見解を。

答 分散型のエネルギー確保の必要性は認識しています。現在一次避難所には、発電機と燃料が配備されていますが、L Pガス災害対応バルク等の設備には、コストや設置場所、管理方法等に課題があり、引き続き検討していきたい。また、災害時の避難所等へのエネルギー供給については、現在、一般社団法人東京都L Pガス協会多摩西部地区立川部会と、協定締結に向けて調整を行っているところです。

一般質問項目

①災害時を想定したエネルギー分散化について ②セーフティネットとしての居住支援のあり方について ③健康ポイント事業について

「デートDV」とは

恋人、交際相手による心とからだへの暴力のこと。身体的暴力、携帯電話の着信履歴やメールのチェックなどの精神的暴力、デート費用を払わないなど経済的暴力、性的暴力が特徴。



中学生向けチラシ

「災害対応バルク」とは

L Pガスの貯槽と供給設備（ガスメーターなど）・消費設備（コンロや発電機等）をセットにしたもので、災害時でもL Pガスによるエネルギー供給ができる。



災害対応バルク概観 出展：日本L Pガス協会

景観に配慮した樹木の伐採を

桑川 敏男（たちかわ自民党・安進会）



問 昨年の台風で、市内でも倒木等の被害がありました。若葉台小学校前のけやきの木や、根川緑道の桜の木などが、危険除去のため伐採されました。現在は切り株だけが残されており、見た目も非常に悪いと感じます。保全の仕方についても、統一性がなく、景観や安全面をどのように考えているのですか。また伐採には、樹木診断が必要な場合もありますが、基準等はあるのか伺います。伐採の際には、市民感情を考慮し、丁寧な説明をすべきです。

答 伐採後の状態が、景観上望ましいとは考えていませんが、地表面付近で伐採した場合、歩行者がつまづくなどの危険性もあり、ある程度高さを残して伐採しています。樹木診断に基準等はありませんが、危険と判断された樹木は、速やかに伐採していきます。通常はせん定時に目視での点検を行っていますが、定期的な診断の必要性も認識しており、今後策定予定の街路樹のあり方方針の中で検討していきたい。

一般質問項目

①立川市の景観について ②老朽化について

「おくやみコーナー」の設置を

伊藤 幸秀（公明党）



問 家族を亡くした遺族は、故人を見送った後、息つく暇もなく死亡に伴うさまざまな手続きを行います。遺族に寄り添った相談業務を行うことは、市が最も力を入れるべき急所だと考えます。本市では、遺族に寄り添う対応となっていますか。また、お悔みについての案内は、どのようになっていますか。全国に先駆けて「おくやみコーナー」を設置した大分県別府市の視察では、創意工夫が強く感じられました。本市でも導入すべきですが、見解を。

答 本市の窓口サービスは、御遺族はもとより、来庁される方に寄り添って対応するように努めています。死亡に伴う手続きについては、死亡届の提出時に、その後に必要となる手続きの一覧をお渡しし、また市のホームページでもお知らせしています。おくやみコーナーについては、別府市の担当者へ早速問い合わせ、導入後の課題も含めご教示いただきながら、本市の方向性について検討していきたい。

一般質問項目 ①生活保護のありかたについて ②市民に寄り添う「おくやみコーナー」（仮称）設置について ③多摩都市モノレールの障がい者サービスについて ④立川競輪場の活用について

まちなか商店 リニューアル制度の導入を

中町 聡（日本共産党）



問 地元商店の方々から話を聞くと、市が具体的な対策を取らなければ、商店街の衰退は免れないと強く感じます。群馬県高崎市のまちなか商店リニューアル助成制度は、市内に住民登録のある事業者等が、市内の販売業者から店舗備品を購入する際に助成が受けられる制度です。この制度であれば、市内で仕事が回り、商店街の会員数も増え、商店主のモチベーションも上がると考えます。本市でも、この制度の導入を前向きに検討すべきですが、見解を。

答 高崎市のリニューアル制度は、市内の商業等の活性化を図るため、店舗等の改修や備品購入費の一部を助成する制度と聞いています。店主等のやる気を後押しする効果がある施策と感じますが、本市では、商店街の活性化のため、市内にある個店の魅力を商品力や接客等の視点から審査し表彰する輝く個店振興事業等、さまざまな施策を先駆けて実施しており、現在この制度の導入は考えておりません。

一般質問項目

①子どものインターネット利用について ②若者の声に応える行政施策について ③商店街の活性化について

子どもの虐待、 DV防止の対策を

松本 マキ（マキおこせ！市民力）



問 千葉県野田市の児童虐待事件では、母親もDVを受けていた経験があり、改めて子どもの虐待とDVの関連性の問題が浮き彫りになりました。本市の児童虐待への対策と、DV被害者の避難所の設置状況をお示しください。また、デートDV防止については、どのように取り組んでいるのですか。教育の場や、家族を持ったときなど人生の節目、節目で男女平等や多様性を考える機会があることが、いじめや虐待、DV防止につながると考えます。

答 立川市子ども支援ネットワークを設置し、要保護児童等の情報交換を行うなど、児童虐待予防や早期発見に取り組んでいます。また避難所については、民間シェルターに運営費を補助しています。担い手不足により平成31年度で終了予定ですが、代替施設について、関連自治体と協議します。デートDV等防止のために、中学3年生に弁護士による出前講座を実施していますが、回数を増やせるよう努力したい。

一般質問項目

①子育て環境の充実について ②多様性を尊重する社会、男女平等参画、人権教育について